

# 奥羽大学報



< 入学式 >



# 130

— 目 次 —

平成23年度入学式／編入学生・転学部生入学式／	
大学院歯学研究科入学式・オリエンテーション／新入生オリエンテーション	2
薬学部長就任挨拶／東日本大震災による大学の被災状況／	
東日本大震災避難者に対する口腔管理支援	3
身元不明遺体の検死派遣／平成23年度高大連携講座	4
平成23年度オープンキャンパス／平成23年度科学研究費補助金／	
平成23年度学術研究助成基金助成金(新設)	5
「ベストトレーニング賞」受賞／学長杯球技大会／	
平成23年度クラブ・同好会一覧	6
父兄会・保護者懇談会／父兄授業参観／附属病院	7
教授就任挨拶／平成23年度教学関係人事	8
人 事	9
同窓生のひろば	10

## 平成23年度入学式

平成23年度入学式が4月23日(土)午前10時より、第2講義棟第3講義室で挙行された。

去る3月11日の東日本大震災の影響により、本年度事業計画において4月4日(月)挙行予定が延期となった。

入学式では、歯学部並びに薬学部新入生全員が呼名され、天野義和学長より入学が許可された後、学長告辞が行われた。

続いて、歯学部代表 野口紗珠、薬学部代表 朝倉諄両君から希望に満ちた新入生宣誓があった。

最後に本学の出席者紹介があり、厳粛な雰囲気の中入学式が終了した。



## 編入学生・転学部生入学式

平成23年度の編入学生・転学部生の入学式は、4月20日(水)午前10時より、記念講堂の学長室において挙行された。

歯学部2年次編入学生9名、転学部生1名、薬学部2年次編入学生6名が入学許可を受けた。さらに、4月末の歯学部編入学試験により入学が決まった3名の入学式は5月7日(土)にとり行なわれ、入学式では天野義和学長より、本学の建学の理念が告辞された。

編入学生および転学部生は、いずれも大学学部卒、大学院在籍の経験があり、心機一転、本学において歯科医師・薬剤師を目指す。



## 大学院歯学研究科入学式・オリエンテーション

平成23年度大学院歯学研究科の入学式が4月23日(土)午後1時より歯学部附属病院棟5階第3会議室にて挙行された。今年度の新入大学院生は一般選抜5名、社会人特別選抜4名であった。

天野義和学長より入学が許可された後、研究に対する心構えが告げられた。引き続き全大学院生を対象としたガイダンスが行われ、清野和夫研究科長より研究の意義や研究生生活、ハラスメントへの対応およびカリキュラム等について説明があった。

## 新入生オリエンテーション

### 歯学部

今年度は、東日本大震災の影響により学外研修を中止し、4月25日(月)、26日(火)の2日間学内において実施した。初日は学部長と学生部長の挨拶後、クラス担任と科目担当者の紹介、学生生活と教務関係の諸注意と詳しい説明、クラス会、禁煙セミナーを行った。2日目はまず高校での主要科目6科目の確認試験を実施した。この結果は入学後の早い時期からの個人指導に活用される。その後新入生同士の心のふれあいを目的としたエンカウンターが行われた。短時間ではあったが新しい友人関係もでき、奥羽大生としての良いスタートが切れたようである。

### 薬学部

4月23日(土)と26日(火)の2日間にわたり、オリエンテーションを実施した。今年度の開催は、東日本大震災と福島原発事故のため半月遅れとなった。

23日は父兄も同席され、最初に学部長より震災と原発事故に対する大学の取組状況と今後の対応について説明がなされた。次に学年主任とクラス担任の紹介、1年間の日程、カリキュラムの説明、単位取得並びに選択科目の登録を行い、最後に学生生活上の諸注意と学生相談室の利用等の説明が行われた。

26日はクラス毎に分かれて、各クラス担任からより詳細な説明と自己紹介が行われた。充実した大学生活となるようにクラス担任一同、積極的な支援を行っていく所存である。

### 薬学部長就任挨拶



薬学部長  
衛藤 雅昭

3月に東日本大震災が発生し、その復旧・対策の重要な時期に重責をにない、身のひきしまる思いです。精一杯努力する所存です。また被災された関係者、ご家族様には心よりお見舞い申し上げます。

大学のご尽力により、震災のため遅れていた前期授業を4月20日に開始することができました。4月23日には桜満開の中、入学式を挙行することができ、1年生の講義も始まりました。5月からは2、3年生の実習を開始することができました。前期開講からひと月余りになりますが、順調に進んでいます。これも皆様の一致団結と協力の賜物と感謝しています。6年生は来年3月に6年制初めの国家試験を受けます。5年生は現在卒業研究をしています。9月以降病院・薬局実務実習にいけます。4年生は12月と来年1月に共用試験を受けます。薬学部が開設されて初めて1～6年生が揃うという重要な年です。教員一丸となって指導・教育していきたいと考えています。私は、学生諸君には、この災害にひるむことなく、冷静さと理性・知性を持ち、ひとを思いやり助け合える医療人になってほしいこと、そして学生として今やるべきことは、一生懸命勉強して立派な社会人になることであり、それが福島、東北、そして日本の復興に貢献すると言いました。

私は九州、大分市の出身です。理学部で化学を学び、その後、医科大学を卒業しました。6年前薬学部開設時に疾患薬理学・臨床医学担当として奥羽大学に赴任しました。現役の糖尿病専門内科医でもあります。6年制薬学教育は、臨床能力をもった、患者本位の医療・チーム医療ができる薬剤師の養成が要求されますが、この目標に向かって学生教育を行いたいと考えています。よろしくお願いたします。

### 東日本大震災による本学の被災状況

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、本学の建物等におきまして多大な被害が生じ、震災後ただちに東日本大震災対策本部を設置し被災状況の確認等に対応いたしました。

対策内容といたしましては、まず第一に被災した学生の安否確認を実施いたしました。次に被害のあった建物や施設・設備の補修に着手いたしました。そしてその進捗状況を踏まえ、安全性を確保したうえで、授業開始は4月20日から入学式を4月23日と決定いたしました。

本日まで、建物全体の重大な破損及び溶解箇所は、補修を進めております。今後は、学生のより一層の安全を確保するため、建物の更なる耐震化を図るなどして一日も早い復興に努めてまいります。

完全復旧には、相当の時間を要します。ご不便をおかけいたしますが、ご協力お願いいたします。

### 東日本大震災避難者に対する口腔管理支援

3月11日(金)に発生した未曾有の大地震の翌週17日(木)夜に高橋和裕附属病院長の命を受けて震災避難者に対する口腔管理支援チーム(歯科保存学講座3名、歯科補綴学講座2名、成長発育歯学講座1名、口腔衛生学講座1名)が発足しました。現在、本学の社会貢献活動の一つとして、福島県歯科医師会および郡山歯科医師会と連携し、4月13日(水)から郡山市内の避難所(郡山市青少年会館、福島県農業総合センター)に出向き、歯科

医療相談や歯科関連救済物資の整理・搬入などを行っています。

(歯学部災害支援班 佐々木重夫)



### 身元不明遺体の検死派遣

この度の大震災における本学の社会貢献活動として、甚大な津波被害があった相馬地区において、福島県警察本部・県歯科医師会・自衛隊と協力し身元不明遺体の検死派遣業務を担当しました。

日本歯科医学会および日本歯科医師会から協力要請を受けた大野歯学部長の指示で、高橋病院長指揮のもとに検死チームを立ち上げました。3月29日(火)の初回出勤当初わずか3名を数えるのみでしたが徐々に賛同者を得て14名のチームとなり、1人1回から7回の検死派遣を担当しました。歯科医師会と分担して本学が週の前半を受け持ち、毎週月～水曜日に2名ずつ相馬市内の遺体安置所に5月末日まで計27回出勤しております。

現場では警察官の献身的な働きに助けられながら検死と照合作業を行います。菌型の照合は身元確認の重要な手がかりとなるため、遺体から出来る限り正確な情報を収集し記録しなければなりません。それを生前情報(すなわち地元医から提供された患者さんのカルテ)と照合する際、双方が正確でなければ同一人物を別人と判断してしまう危険性があります。

たとえ身元が判明してもご遺族の悲しみが変わることはありません。それでも「一人でも多くの方をご遺族の元へお返しすること」が我々の使命と胸に刻み、正確な検死ができるようにと祈りながら任務にあたっております。

(歯学部災害支援班 板橋 仁)

### 平成23年度高大連携講座

本学は、社会に開かれた大学として教育・研究の情報発信に鋭意取り組んでいるが、その一環として平成20年度から「高大連携講座」を実施している。

この度、平成23年度のプログラムが以下のように決定した。この中で、高校側からリクエストのあった講座の担当教員が、当該高校に出向き、講義することとなる。

学部	演題	講師
歯学部	噛むことは脳を活性化し、運動能力を増す	清野 和夫 教授
	命を脅かす微生物と命を助ける微生物	清浦 有祐 教授
	口臭は健康のバロメーター	廣瀬 公治 教授
	レーザー光線と歯科治療	横瀬 敏志 教授
	歯はなぜ2回しか生えてこないの？	
	怖い歯周病	高橋 慶壮 教授
	噛ミング30でいつまでも歯っぴい	瀬川 洋 准教授
	歯ならび治すとどうなる？	松山 仁昭 講師
薬学部	糖尿病薬にはどんなものがあるの？	衛藤 雅昭 教授
	不足と過剰の栄養素	上野 明道 教授
	かゆみのはなし	野島 浩史 教授
	薬を「体内の必要な部位に」、「必要な量を」、「必要な時だけ」運ぶ	柏木 良友 教授
	高血圧症とその治療薬について	高田 芳伸 教授
	リンネとゲーウィン：生き物を分けた人とつなげた人	大島 光宏 教授
	身の回りの科学：お茶を科学的に解明しよう	竹元万壽美 教授
	薬の開発や使い方：グリーンケミストリーと医薬品	
	感染症から身を守るには	堀江 均 教授
	「健康と環境」―食と食品添加物について―	宇佐見則行 准教授
	「薬物乱用防止教育」―医薬品の適正使用について―	
資格って何？～医療系資格を中心に～	波多江 崇 講師	

平成23年度オープンキャンパス

今年の奥羽大学オープンキャンパスはいつもと違います!このオープンキャンパスに参加すれば本学に興味のある高校生だけではなく、社会人の皆さんも必ず歯科医師・薬剤師に魅力を感じるはずです!さらに今年は普段は公開していない研究室にも、あなたを招待します。奥羽大学では、国から認められた研究が多数ある事をご存知ですか。そんな研究の第一線も紹介します。是非この機会にオープンキャンパスへご参加ください。

月日	内容	月日	内容
7月23日(土)	歯学生・薬学生を体験しよう	9月10日(土)	研究室って何?
8月6日(土)	奥羽大学って、こんな感じ	10月9日(日)	個別相談会
8月28日(日)	職業としての歯科医師・薬剤師	10月22日(土)	推薦入試に備えよう

平成23年度科学研究費補助金

科学研究費補助金とは、大学の研究者の自由な発想に基づく研究に対して拠出される我が国最大規模の補助金である。科学研究補助金は平成23年度より学術研究助成基金助成金に移行する。

(単位:円)

研究課題	研究代表者			交付額 (直接経費)	交付額 (間接経費)	研究科目
	所属	職名	氏名			
若手研究B	歯学部	講師	中 貴 弘	800,000	240,000	発生学的知見を応用した新たな骨再生医療の開発
		助教	前田 豊信	800,000	240,000	スタチンとMTAの併用による歯牙と歯周組織の再生作用
基盤研究C	歯学部	教授	高田 訓	300,000	90,000	末梢神経損傷部への嗅神経被膜細胞(OEC)移植の有用性
		教授	加藤 靖正	800,000	240,000	口腔扁平上皮癌細胞の悪性形質発現におけるSPARCの役割
		教授	深井 直実	300,000	90,000	マウス歯矯正モデルを用いたメカニカルストレスによる骨リモデリング機序に関する研究
		教授	高橋 慶壮	800,000	240,000	抗酸化剤で歯周疾患の予防と制御を図る研究
	薬学部	教授	大島 光宏*	700,000	210,000	歯周炎分子標的治療薬のスクリーニングに有効な三次元培養モデルの作成
合 計	7件			4,500,000	1,350,000	
交付総額				5,850,000		

※は他大学との共同研究です。

平成23年度学術研究助成基金助成金(新設)

(単位:円)

研究課題	研究代表者			交付額 (直接経費)	交付額 (間接経費)	研究科目
	所属	職名	氏名			
基盤研究C	歯学部	教授	木村 裕一*	900,000	270,000	光増感剤を応用したレーザーによる根管内細菌検査法の有用性に関する研究
		教授	清浦 有祐	3,100,000	930,000	高齢者の造血幹細胞移植における誤嚥性肺炎発症メカニズムの解明とその予防法の開発
		教授	廣瀬 公治	1,400,000	420,000	ニコチンが血管内皮細胞を介し骨吸収を促進することを証明する
		准教授	玉井利代子	2,800,000	840,000	歯周病原性細菌の宿主細胞への侵入に対する真菌の増強作用に関する分子生物学的研究
	薬学部	教授	柏木 良友	2,300,000	690,000	個別化薬物療法を志向とした電気刺激的経皮吸収型薬物送達メカニカルデバイスの開発
挑戦的 萌芽研究	歯学部	助教	古山 昭*	2,600,000	780,000	侵害性機械刺激受容体の同定とトランスジェニックフライを用いた機能解析
	薬学部	助手	熊本 隆之	1,400,000	420,000	X染色体を中心とした新たな化学物質毒性メカニズムの体系化と影響評価システムの構築
合 計	7件			14,500,000	4,350,000	
交付総額				18,850,000		

※は他大学との共同研究です。

## 「ベストトレーニング賞」受賞

薬学部6年生の宮本しぐささんが、星総合病院の平成22年度ベストトレーニング賞を受賞し、3月21日(月)に星ヶ丘病院体育館で行われた記念式典で表彰された。

この賞は、平成22年度見学・実習・研修を関連施設で受けた延べ4746名の中から、他の実習・研修者の模範となる行動及び態度で実習・研修を行った者、関係職員に対しても非常に良い刺激となり指導する側の成長に多大なる影響を与えた者2名におくられるものである。宮本さんの実習が高く評価され、本学の実習生として初めての受賞となった。



## 学長杯球技大会

5月28日(土)に第17回奥羽大学学長杯球技大会が開催された。今年はバスケットボール・バレーボールの2種目で行われた。

球技大会は28日だけの開催となった。

たくさんの方々の協力のもと、怪我もなく無事に終えることができた。

バスケットボール、バレーボールの両競技とも多くの参加者がチーム一丸となり、優勝を目指し、白熱した戦いを繰り広げ、大きな歓声も上がっていた。多くの参加者が汗をかき、一生懸命プレーしている姿はとても印象的だった。今大会の経験を生かし、すべての競技において参加者に楽しんでもらえるような球技大会を来年も開催できたらと思う。

最後に、この大会を開催するにあたり協力してくださった先生方、研修医や学生課、そして学生の皆様、本当にありがとうございました。

○バスケットボール

1位:ウールJr.

○バレーボール

1位:スーパーちんすこう



## 平成23年度クラブ・同好会一覧

奥羽大学では、下記のクラブが活動している。体育会系は主に全日本歯科学生総合体育大会、東北総合体育大会等を目標として日々練習に励んでいる。

### <クラブ(体育会系)>

1 バスケットボール	10 空手
2 バドミントン	11 硬式庭球
3 卓球	12 バレーボール
4 サッカー	13 硬式野球
5 サーフィン	14 ゴルフ
6 アメリカンフットボール	15 柔道
7 アーチェリー	16 陸上
8 剣道	17 フットサル
9 ラグビー	

### <クラブ(文化系)>

1 写真	4 コミック・アート研究会
2 ロック軽音楽	5 陶芸
3 モダンジャズ研究会	6 茶道

### <同好会>

1 3ON3	5 ヨット
2 つり	6 スキー
3 アマチュア無線	7 ライフサポート
4 ウインドサーフィン	

### <宣言団体>

・軟式野球部                      ・造形芸術部

### <団体>

・ソフトテニス部

## 父兄会・保護者懇談会

### 歯学部

5月14日(土)に第2講義棟第1講義室で歯学部父兄会定時総会を開催した。出席者111名のもと神山会長を議長として下記の議案を審議し承認された。

#### 【報告事項】

(1)平成22年度事業報告

#### 【審議事項】

- (1)平成23年度の役員選出について  
(2)収支決算(案)について

午後より、150組を越える保護者の方に来学いただき、保護者個別懇談会を開催した。大学生活、成績、進路等に関する様々な質問に対し、担任から現況説明やアドバイスなどが行われた。

三者面談形式で行ったため、学生、保護者及び教員との信頼関係を更に深める機会となった。

### <父兄会「地域会」開催要領>

#### 1. 開催日および会場

開催日	開催地	会場	電話
6月12日(日)	大阪市	大阪グリーンパレス	06-6396-6211
6月19日(日)	東京都	東京ガーデンパレス	03-5210-4640
6月26日(日)	福岡市	福岡ガーデンパレス	092-713-1112

#### 2. 日程

- 受付 10:00～  
全体会 10:30～  
昼食懇親会 12:00～13:00  
個別懇談会 13:00～

### 薬学部

5月20日(金)に第1回幹事会ならびに第2回定時総会が開催された。総会への参加者は83名であった。



総会では小林会長を議長として「平成23年度役員、平成22年度事業報告、収支決算」がそれぞれ審議され承認された。

当日は父兄会だけではなく、講演会や授業参観も同時に開催されており、歯学部の車田准教授による「PTSD・心的外傷後ストレス障害の可能性のある学生への対応」と題した講演が行われ、現場のカウンセラーでもある車田先生の講演を多くの父兄が熱心にメモを取り聞いている。

## 父兄授業参観

### 薬学部

5月20日(金)に開催した父兄会総会および保護者懇談会に併行して、終日、授業参観を行った。授業参観は、実際の授業・実習の様子をご父兄に参観していただき、より本学の教育に理解をいただくため、数年前より行われている。

ご父兄からは、「大学でこんな企画は珍しい。初めて見ました。」「薬学部出身ですが、演習講義を聴くと難しく感じます。」「講義と比べて、実習は生き生きとしています。」などの感想があった。授業を公開した「微生物学実習」は昨今話題となった生肉のパッケージに付着している菌の培養実験であり、ご父兄にとって非常にタイムリーな内容であった。

## 附属病院

### 臨床研修開始式

4月1日(金)平成23年度臨床研修開始式が臨床講義室にて行われた。

今年度の臨床研修開始は東日本大震災と福島原発の事故直後であり本学附属病院での研修を辞退する者が出るのではないかと危惧していたが研修予定者に一人も辞退者はなく、加えるに他大



学出身者および追加希望者まであり、総勢51名の研修歯科医が本学附属病院にて生涯研修の第一歩を踏み出すこととなった。

### 登院式

4月20日(水)、奥羽大学歯学部附属病院で臨床実習を行う88名は、皆様々な心機のかなか誰一人欠けることなく白衣をまとい整列することができた。

予期せず起こってしまった大災害によって、我々は自然の力と命の大切さを実感している。登院式に臨んだ学生は患者さんと真剣に向き合い、その苦しみを知り、病気との闘い方を学ぶことになる。今、第一線で活躍している先輩方と同様、また新たに福島県郡山市に、心から信頼され尊敬される医療人が誕生する、そんな予感を感じさせる登院式であった。



### 教授就任挨拶



歯学部 小児歯科学分野  
島村 和宏

4月1日付で歯学部成長発育歯学講座小児歯科学分野の教授を拝命いたしました。昭和63年に東北歯科大学を卒業(11期)後、本学大学院(3期小児歯科学専攻)にすすみました。平成4年より助手に採用され、鈴木康生教授はもとより多くの先輩や同僚に支えられ、いつの間にか人生の3分の2近くを本学で過ごしてきました。

3月の大震災後、足りないものがあっても足りているものがあること、支えてくれる人がいることのありがたさをあらためて感じました。新任務は浅学非才の身に余る重責ですが、推薦・支持していただいた皆様とともに、本学の発展に寄与できるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



薬学部 薬品製造化学分野  
竹元 万壽美

4月1日付で薬学部薬品製造化学分野の教授を拝命いたしました。

私は静岡薬科大学を卒業後、静岡薬科大学助手、静岡県立大学講師、准教授として33年間、メデイナルケミストリーを中心に、紅茶成分スーパーカテキン:テアフラビンのプロセス生産法、食品製造法まで幅広く研究を展開してきました。

3月3日に、静岡県立大学で33年間の最終講義を行いました。その8日後の東日本大震災で被災されました奥羽大学の教職員の皆様、学生の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

日本一美しいキャンパスで、学生の教育および研究に従事できますことを非常に幸せに思います。微力ではありますが、奥羽大学の発展、がんばろう郡山に貢献できますよう、日々努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 平成23年度教学関係人事

#### <歯学部講座主任>

講座名	講座主任
歯科保存学	横瀬 敏志
歯科補綴学	山森 徹雄
診療科学	齋藤 高弘
口腔外科学	高田 訓
成長発育歯学	福井 和徳
放射線診断学	鈴木 陽典
医科学	久野 弘武
生体構造学	渡邊 弘樹
口腔病態解析制御学	清浦 有祐
口腔機能分子生物学	宗形 芳英
生体材料学	川島 功
口腔衛生学	廣瀬 公治

#### <歯学部学年主任およびクラス担任>

学年	学年主任	クラス担任
1	栗城 源一	栗城 源一 藤井 史郎



学年	学年主任	クラス担任
2	渡邊 弘樹	渡邊 弘樹 前田 豊信 宇佐美晶信
3	清浦 有祐	清浦 有祐 瀬川 洋 岡田 英俊 影山 勝保
4	山森 徹雄	山森 徹雄 金 秀樹 松山 仁昭 佐藤 穂子
5	高田 訓	高田 訓 川合 宏仁 釜田 朗 大須賀謙二
6	横瀬 敏志	横瀬 敏志 鈴木 陽典 深井 直実 山崎 信也 島村 和宏 廣瀬 公治 川島 功 木村 裕一 伊東 博司

<薬学部学年主任およびクラス担任>

学年	学年主任	クラス担任
1	小谷 政晴	1組・小谷 政晴 2組・野島 浩史 3組・山岸 丈洋 4組・木田 雄一
2	竹元万壽美	1組・竹元万壽美 2組・倉本 敬二 3組・伊藤 頼位 4組・八巻 史子
3	柏木 良友	1組・柏木 良友 2組・堀江 均 3組・山下 俊之 4組・金子 俊幸
4	多田 均	
5	早坂 正孝	
6	宇佐見則行	

※4年生はアドバイザー、5年生および6年生は特別実習の教員が担当しています。

人 事

<指定職>

清野 和夫 大学院研究科長 歯 学 部 3月12日付  
 衛 藤 雅昭 薬 学 部 長 薬 学 部 4月1日付  
 上野 明道 学 生 部 長 薬 学 部 4月1日付  
 安 藤 勝 図 書 館 長 図 書 館 4月1日付

<昇任>

島村 和宏 教 授 成長発育歯学 4月1日付  
 玉井利代子 准 教 授 口腔病態解析制御学 4月1日付  
 石坂典子 助 教 口腔病態解析制御学 4月1日付  
 佐藤仁昭 講 師 臨 床 4月1日付  
 佐藤安訓 助 教 薬 学 部 4月1日付  
 戸上紘平 助 教 薬 学 部 4月1日付

<移籍>

米原典史 教 授 口腔病態解析制御学 4月1日付

<兼任>

清野 晃 孝 准教授・臨床教授 診療科学・臨床 4月1日付

<任用>

中 貴 弘 講 師 歯科保存学 4月1日付  
 門 倉 弘志 講 師 歯科保存学 4月1日付  
 和田隆史 助 教 歯科保存学 4月1日付  
 長崎慶太 助 教 診療科学 4月1日付  
 中村真治 助 教 成長発育歯学 4月1日付  
 今田玲美 助 教 成長発育歯学 4月1日付  
 金子友紀 助 手 歯科保存学 4月1日付  
 和田裕一 助 手 歯科補綴学 4月1日付  
 南條章太郎 助 手 成長発育歯学 4月1日付  
 加川千鶴世 助 手 成長発育歯学 4月1日付  
 上田貴史 助 手 口腔外科学 4月1日付  
 龍方一朗 助 手 生体材料学 4月1日付  
 竹元万壽美 教 授 薬 学 部 4月1日付  
 吉田健太郎 助 手 薬 学 部 4月1日付  
 山内貴子 講 師 臨 床 4月1日付  
 渡辺正博 講 師 臨 床 4月1日付  
 伊藤 歩 助 手 臨 床 4月1日付  
 遠藤天満 助 手 臨 床 4月1日付  
 大桶綾子 助 手 臨 床 4月1日付  
 狩野隆広 助 手 臨 床 4月1日付  
 佐川富勇 助 手 臨 床 4月1日付  
 助川絵美 助 手 臨 床 4月1日付  
 宮腰義隆 助 手 臨 床 4月1日付  
 森 慎一郎 助 手 臨 床 4月1日付  
 江夏 藍 助 手 臨 床 4月1日付  
 服部宗太郎 助 手 臨 床 4月1日付  
 三浦和輝 助 手 臨 床 4月1日付  
 三科祐美子 助 手 臨 床 4月1日付  
 菅野 忠夫 医 療 職 員 病院事務部 4月1日付  
 渡部 一 事 務 職 員 学事部(歯) 4月1日付

## 同窓生のひろば

柿沼 邦夫(歯学部5期生)

同窓の先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

大学を卒業して29年、とうとう歯科医になる前より歯科医としての人生の方が長くなってしまいました。私は現在、埼玉県川口市に開業しております。

このたびの未曾有の地震と津波による東日本大震災で被害にあわれました会員、ご家族、ご親戚、および関係者の方々におきましては心よりお見舞いを申し上げます。そして、一日でも早く復興されますようお願いいたします。

さて、この地震と津波により福島原子力発電所が被害を受け、電力不足が埼玉県にも深刻な影響を与えました。「計画停電」という名の「無計画停電」によって私たちの生活がいかに電気に依存しているかがわかりました。現在は小康をえています、夏のピーク時に再び電力が不足することは確実な状況です。政府は産業界に節電を求めていくようです。電力消費には家庭分も3分の1シェアを持っていますので、各ご家庭でも節電に取り組んでいく必要があると思います。

私は、これからのエネルギー政策は、供給の面からと消費の面からの2面作戦が必要だと思います。新規の原子力発電所は当面凍結する。火力、水力は当然として、風力、地熱、太陽光などクリーンエネルギーの開発を進め、電力供給の多様化を図る必要があります。そして何よりも大事なことは私たちのライフスタイルを見直すことです。

今こそ新しい流れを作るべきではないかと思えます。夜型の生活スタイルを昼型に直したり、エアコンをできるだけ使わず、涼しい夏を過ごせるようにすることなどできることから始めるべきではないかと考えます。これも、歯科医師としてできる社会貢献の一つだと思います。

清水 真由美(歯学部6期生)

ゴールデンウィークの真っ只中、私は88歳の母の希望をかなえるべく、栃木県板室温泉に来て、温泉に入り、うたた寝している母のそばでこれを書いていきます。部屋の窓からは満開に咲き誇ったみごとなしだれ桜が見え、ちょっと先にはたくさんこのいのぼりが元気いっぱいたなびいています。

せっかくの会報投稿ですから、元気で楽しくがんばっているという話を書きたいと思ったのですが、やはりあの日からを書かずにはいられません。3月11日、私の住んでいる所は北関東・栃木県北部ですが、地震の揺れはとてつもなく、長いこと揺れました。と同時に停電になり、その日の診療は中断を余議無くされ、あたりはだんだん暗くなり、夕食は主人と二人、懐中電灯片手に卓上コンロを駆使してすませました。暗くなるにつれ、寒さもどんどん加わり、こんなに電気に頼っていたのかと驚きました。我が家では電気がなくては暖もとれませんし、ガス台もポットも電気が必要で、玄関を開ける鍵でさえ電気です。何気なく生活していた日々は一変し、地震におびえ、「計画停電」という極めて無計画で不平等な停電に悩まされる日々がやってまいりました。そこで感じたのは穏やかな日々大切さです。来てくださる患者さんと真摯に向き合い、誠実に、笑顔で接することの大切さ、自分自身の少しでも向上しようとする気持ちの大切さ、そんなことを感じさせる日々をすごしています。まだまだ不安がいっぱいではありますが、静かにコツコツとすごしていきたいと思えます。

このたび、東日本大震災で被災された皆様に哀悼の意を捧げるとともに、心よりお見舞い申し上げます。

また、この度、長男・峰太が同窓会に入会させていただきました。くれぐれもご指導の程、よろしくお願い致します。

こんな“今”でございます。

奥羽大学報130号(通算No.255)平成23年5月31日発行

発行 奥羽大学  
学報編集委員会  
委員長 天野義和

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372  
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>  
メールアドレス [info@ohu-u.ac.jp](mailto:info@ohu-u.ac.jp)